

6 旅行・行楽

1年間に「旅行・行楽」を行った人は99万人、行動者率は78.4%

過去1年間に何らかの「旅行・行楽」を行った人は99万人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率）は、78.4%で、全国平均より2.2ポイント上回っている。行動者率を平成13年と比較すると、5.9ポイント低下している。

行動者率を男女別に見ると、男性は77.9%（行動者数46万5千人）、女性は78.9%（52万5千人）で女性が男性より高くなっている。これを平成13年と比較すると男性は5.3ポイント、女性は6.3ポイント、低下している。

旅行・行楽」の種類別行動者数 行動者率

	総 数		男		女	
	行動者数 (千人)	行動者率 (%)	行動者数 (千人)	行動者率 (%)	行動者数 (千人)	行動者率 (%)
総数	990	78.4 (-5.9)	465	77.9 (-5.3)	525	78.9 (-6.3)
行楽 (日帰り)	787	62.3 (-8.3)	356	59.6 (-8.1)	431	64.8 (-8.4)
旅行 (1泊2日以上)	853	67.5 (-5.3)	407	68.1 (-5.5)	446	67.0 (-5.2)
国内旅行	830	65.7 (-5.3)	394	65.9 (-6.0)	436	65.4 (-4.8)
観光旅行	681	53.9 (-6.4)	314	52.6 (-7.5)	367	55.1 (-5.3)
帰省・訪問等の旅行	330	26.1 (-0.8)	148	24.8 (-1.1)	181	27.3 (-0.5)
業務出張 研修 その他	184	14.5 (-1.4)	131	21.9 (-3.7)	53	7.9 (+0.7)
海外旅行	150	11.8 (-2.6)	76	12.7 (-1.2)	74	11.1 (-3.8)
観光旅行	127	10.0 (-2.4)	56	9.3 (-1.4)	71	10.7 (-3.3)
業務出張 研修 その他	35	2.7 (0)	27	4.6 (+0.4)	7	1.1 (-0.3)

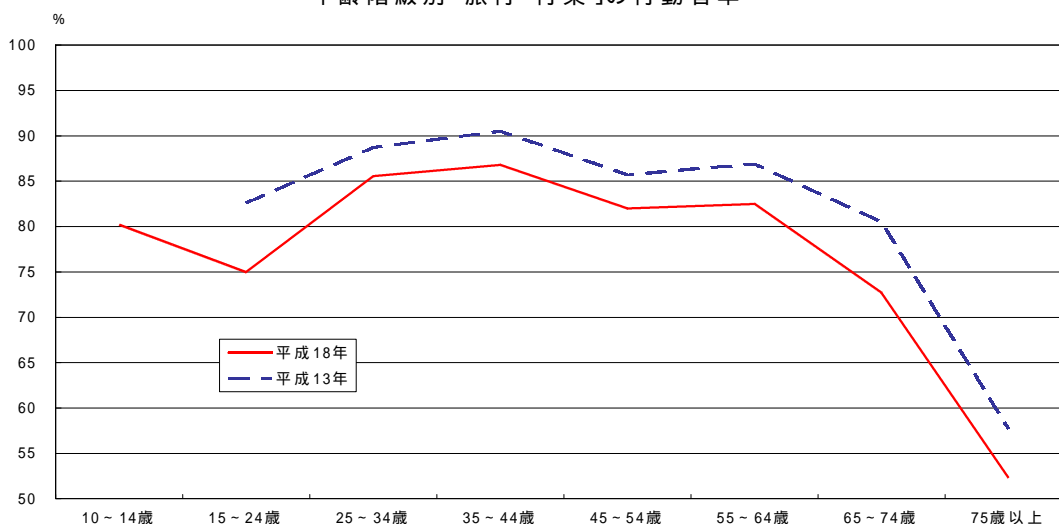
()内は平成13年との比較

男性の30～40歳代、女性の20～30歳代で最も高い行動者率

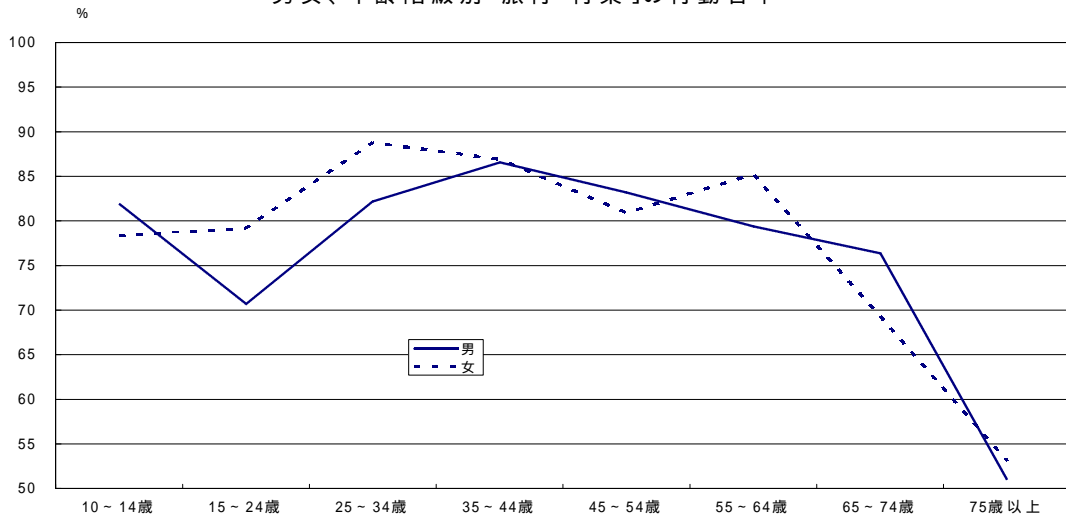
「旅行・行楽」の行動者率を年齢階級別にみると、35～44歳で86.8%と最も高くなり、年齢が高くなるに従っておおむね低下している。平成13年と比較するとすべての年齢階級で低下している。特に、65～74歳で低下幅が最も大きく、7.8ポイントとなっている。

また、男女別に見ると10～14歳、45～54歳、65～74歳を除き女性の方が男性より高くなっている。

年齢階級別「旅行・行楽」の行動者率



男女、年齢階級別「旅行・行楽」の行動者率



「行楽」(日帰り)より「旅行」(1泊2日以上)の方が高い行動者率

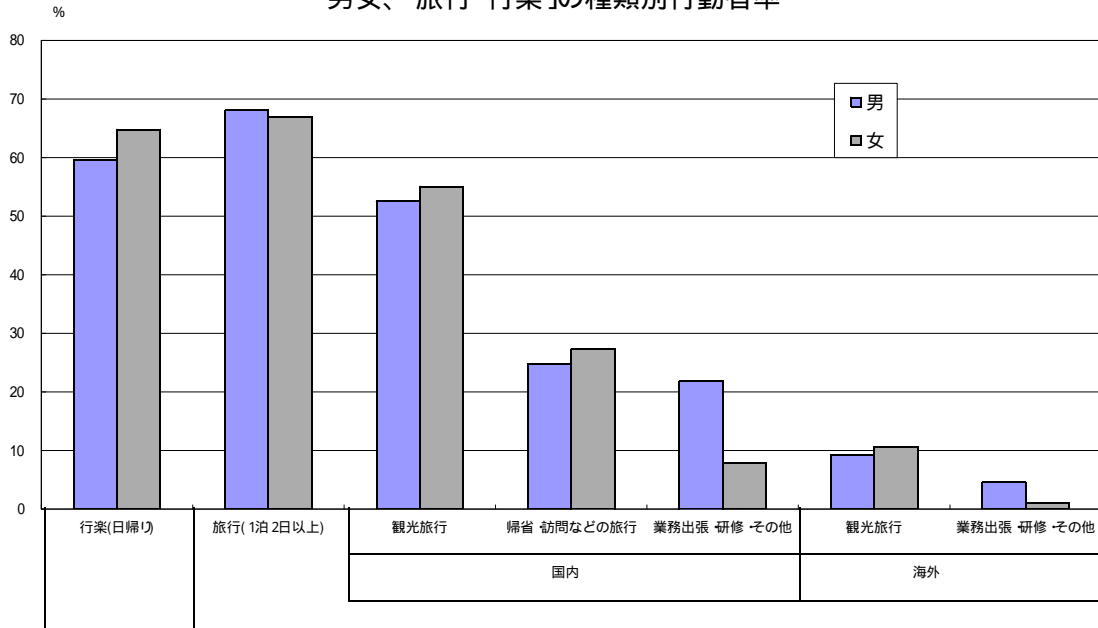
「行楽・旅行」の行動者率を「行楽」(日帰り)と「旅行」(1泊2日以上)に分けてみると、「行楽」は62.3%(行動者数78万7千人)、「旅行」は67.5%(85万3千人)と「旅行」の方が高くなっている。これを平成13年と比較すると、「行楽」は8.3ポイント、「旅行」は5.3ポイントそれぞれ低下している。

「行楽」(日帰り)の行動者率は、ほとんどの年齢層で女性が男性より高い

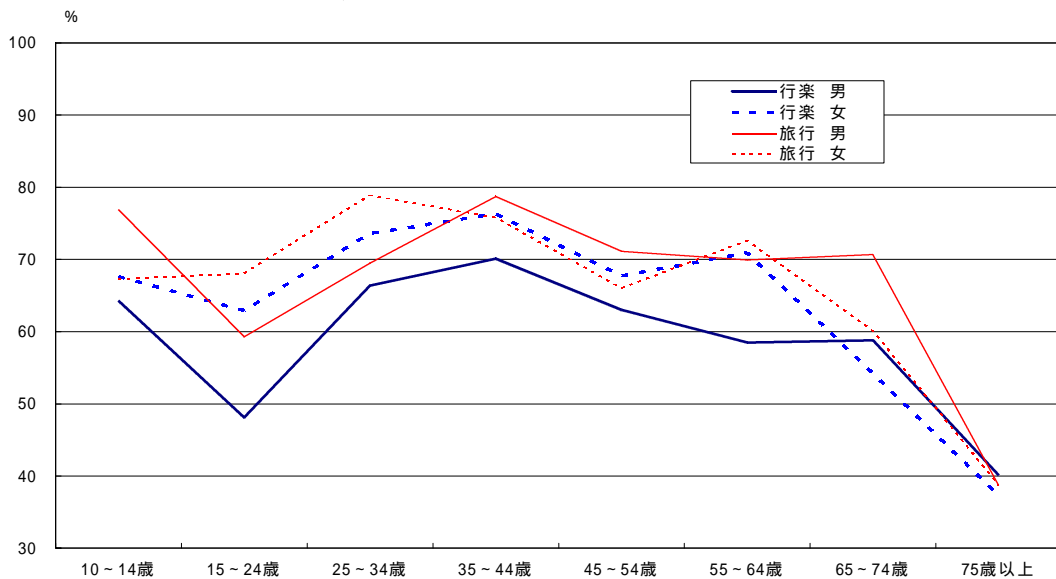
「行楽」と「旅行」の行動者率を男女別にみると、「行楽」は男性が59.6%、女性が64.8%、「旅行」は男性が68.1%、女性が67.0%となっており、「行楽」は女性の方が高く、「旅行」は男性の方が高くなっている。

ただし、「旅行」を種類別にみると、男性が女性より高いのは「業務出張・研修・その他」だけであり、「観光旅行」、「帰省・訪問等の旅行」では、女性が男性より高くなっている。これを年齢階級別にみると、「行楽」では65歳以上を除くすべての年齢階級で女性の方が高くなっている。

男女、旅行「行楽」の種類別行動者率



男女、年齢階級別「旅行」「行楽」の種類別行動者率



男性、女性ともおおむね10人に1人は海外観光旅行へ

「旅行」の行動者率をその種類別にみると、国内「観光旅行」は男性が52.6%、女性が55.1%、海外の「観光旅行」は男性が9.3%、女性が10.7%と、いずれもわずかではあるが、女性が男性より高くなっている。これを年齢階級別にみると、国内、海外とも「観光旅行」では、10~14歳、65歳以上を除く年齢階級で女性が男性より高くなっている。

男女、年齢階級別「観光旅行」の種類別行動者率

